

異物検査の経験豊富な知識と技術により、食の安全・安心をご提供します。

食品や飲料への異物混入は、人々に不快感、嫌悪感を与えるだけでなく、病原体汚染や人体への影響などの危険性もあります。それらの様々な異物の特性や形態を一つひとつ、長年培ってきた幅広い知識と広い視野により総合的に検査します。一つの異物から得られる数々の情報をもとに、「食品の安全性」と「衛生的な環境づくり」をトータルにサポートします。

異物検査の流れ

食品や飲料水に混入する異物を最新の手法と充実した検査技術を駆使して判別し、総合的な分析結果をご報告します。

検体到着

食品や飲料水に混入する異物を詳細に観察し、最適な各種試験を実施します。

予想される異物（食品・飲料水など）

- 合成樹脂など
- 骨・歯・動物質異物など
- 植物片など
- 金属片・ガラス・石など
- 変色・濁り・着色など
- 微小生物
- 毛髪
- 昆虫片



到着検体の判別



外観試験

- 色調
- 形態（長さ・幅・厚さ）
- 硬さ
- その他物性的特徴

外観試験

異物を適切な処理により試料から抽出し、大きさや硬さなどを詳しく調べて、物性的特徴を試験します。



顕微鏡試験

- 燃焼試験**
 - 燃焼性
 - におい・色など
 - 融解軟化状態
 - 炭化の形状
- 顕微鏡試験**
 - 異物組織観察
 - 形態観察
 - その他特徴観察など



FT-IR

各種試験

外観試験によって得られた異物の特徴をもとに、種々の試薬や分析機器を駆使して、より詳しく試験を行います。

- 試薬試験**
 - 塩酸反応試験
 - カタラーゼ試験
 - デンプン反応試験など
 - 溶解性試験
- 機器分析**
 - 原子吸光度計
 - ICP/MS
 - FT-IR
 - 蛍光X線分析装置など



蛍光X線分析装置

文献調査

過去のデータや様々な文献を調査して、異物についての情報をできる限り収集し、その分析結果を報告書へ反映します。



文献調査

各種試験や調査により得られた結果を総合的に判断し、推測される異物の種類などを詳しくまとめて、わかりやすい報告書をご提供します。

報告書作成



報告書

発見された異物見本

思わぬところで混入してしまう異物を、いち早く判別し、工程管理や安全対策に役立てていただきます。

食品に混入していた異物の一例

昆虫類



アリ

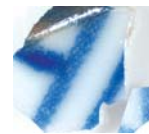


蛾の幼虫

ガラス片・陶器片



ガラス片

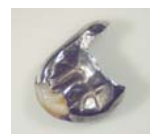


陶器片

骨・歯・歯の詰め物



骨片



歯の詰め物

金属片

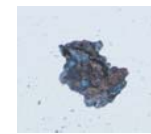


針金の一部

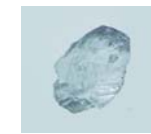


金属板の一部

金属片・スケールなど

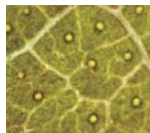


酸化鉄

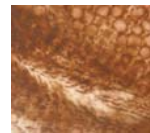


シリカ

植物類（野菜くず・木片など）



シソの葉の表皮

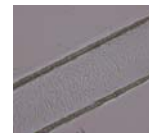


ゴマの表皮

毛髪



動物毛



毛髪の拡大

石片



小石



小石

合成樹脂（ゴム・ビニール・塗料片など）

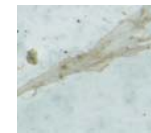


ビニール片



プラスチック片

合成樹脂



ライニング材



ゴム

動物質（乾燥した肉や魚・血管など）



血管

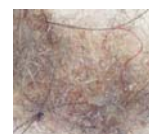


肉片

繊維



繊維の拡大



繊維束

加工品表面の斑点・変色

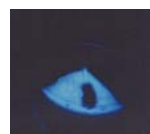


肉の変色



カビによる変色

血痕

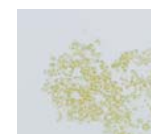


ルミノール反応



血液

微小生物



藻類



線虫

異物検査内容

基本検査

- 外観試験
- 顕微鏡検査
- 文献調査

確認試験・その他の検査

- スンプ法（毛髪検査のみ）
- カタラーゼ試験
- 細胞組織の比較試験
- ニンヒドリン反応試験
- 塩酸反応試験
- デンプン反応試験
- 磁性の有無
- 鉄の簡易定性試験
- ルミノール試験（血痕検査）
- 各種試薬による溶解試験
- 燃焼試験
- 理化学的検査
- 微生物学的検査
- 蛍光X線分析（金属分析）
- FT-IR（合成樹脂類、その他）
- 原子吸光度法
- ICP/MS など

* 異物の種類や状況によっては特定できない場合がありますので、ご了承願います。また、掲載されていない異物については、お問い合わせ下さい。